

よえもん

-yoemon-

2014年5月

第13号

今月のことば

シリーズ
よえもん

あかぎれ
こうやくの
お話



四国のおえもんさんに、小川村のお母さんから手紙が届きました。
「冬になると、あかぎれができて、困ります。」
やさしいよえもんさんは、ある日 あかぎれによくきく薬を手入れしてお母さんに持って帰りたいと思いました。
次の日、こっそり おじいさんの屋敷を出て、小川村へ出かけました。
小川村は雪でまっ白でしたが、よえもんさんは、ようやくわが家にたどり着きました。「お母さん！」とよえもんさんは、思わず走りよりました。

「よえもんです。あかぎれによく薬を持って帰りました。」
と薬を母にさしあげました。

するとお母さんは、
「これ、よえもん！
お母さんのことを思って薬を持ってくるより、
その間にしっかり勉強してリハビリになってくれるのが
どれほどうれしいか、
知足ですくに帰んなさい！！」

よえもんさんは、きびい言葉に涙ができました。

「お母さん、わかりました。
すぐに引き返しますんで、薬だけは、受け取って下さい。」

雪がはげしく降り、風がヒューヒューと吹く中、
よえもんさんは、今さら道をもどって行きました。
よえもんさんを見送るお母さんの目には、涙があふれていました。



赤い糸

書・洲田瑞穂さん
出典・中江藤樹の和歌

好悪の色に
心をとよめねば
柳はみどり
花は紅

自己中心の「私意」による好き嫌いの心がなければ、自分のまわりの全ての事柄が、本来の姿として見えてくるのです。

第25回小企画展

近江聖人 中江藤樹の高弟
「又壁 熊沢蒼山・淵岡山」
を開催中です！

蒼山ほど知られてませんが、
淵岡山、好評です。

「こういう人が
いは、たんですか？」

「皆さん
おしゃいます。」



記念館散歩



二十四節気の立夏をすぎ、またたかくなってきました。日焼け対策が重要な季節に入りますね。おえもんさん通りや記念館の藤棚では、そろそろ紫と白の花が見ごろを迎えています。まさに藤樹の季節真っ最中。陽明亭の前にはハズオウ、記念館への途中にナミズキがそれぞれピンクと白の花を咲かせています。四月には陽明園の池にカワガモのファミリーがヒキヒキ遊びに来ていました。この頃見かけかので、さびしいなと思っていたところ、あつ朝一羽だけ見かけました。時移の不一致で羊あったのでしょうか。心配です。



近江聖人 中江藤樹記念館
高島市安曇川町上小川69 TEL:FAX (0740)-32-0330

